

災害を

ふり返って



昨年は台風 15 号・19 号や 10 月の大雨など、風水害の影響で全国各地で停電や断水が発生する事態となりました。特に千葉県での被害は大きく、山武水道でも台風 15 号の影響により給水区域全域が断水となり、皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。

今回は、山武水道の災害対策のご紹介とご家庭で出来る対策方法を改めて確認していきましょう。



水道水には電気が必要！

蛇口をひねればいつでも使える水道水ですが、配水場から各ご家庭まで、ただ流れている訳ではありません。

いつでも安定して水道水を使うように配水場に蓄えられた水の量や消毒用塩素の量などをコントロールする為に電気が必要なのです。

機械類を動かすためには電気が必要不可欠！

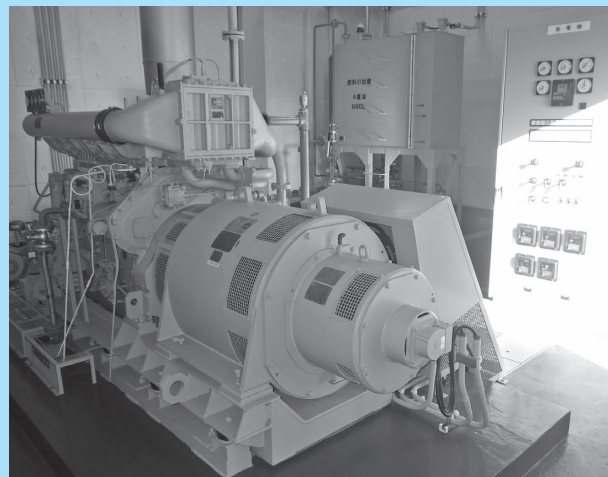


- ☑ 約 9 割の皆さまには、「自然流下方式」という高低差を利用した配水方法でご家庭までお届けしています。



山武水道の停電対策は？

災害時には、各配水場に設置している非常用自家発電設備を稼働し、お客さまに及ぼす影響を軽減してきました。



非常用自家発電設備（東金配水場）

- ☑ 今後は自家発電設備の燃料備蓄量を約 72 時間分確保し、長時間の停電に対応できるように危機管理体制を強化していきます。

災害が長引いたらどうしよう？

山武水道では、ライフラインである水道が断水しないよう施設の維持管理に努めていますが、大規模な災害で水道管の破損などが起こった場合、完全復旧には時間がかかることが考えられます。1 人が 1 日に必要とする飲料水は約 3 リットルとされているので、災害に備えて 3 日分の水を清潔でフタのできる容器などに保存しておきましょう。



一緒に水道水の保存方法を確認しよう！

- ☐ 1 人 1 日 3 リットル × 3 日分が目安
- ☐ 蛇口から直接注いで口元いっぱいまで
- ☐ 保存期間は冷暗所で約 3 日

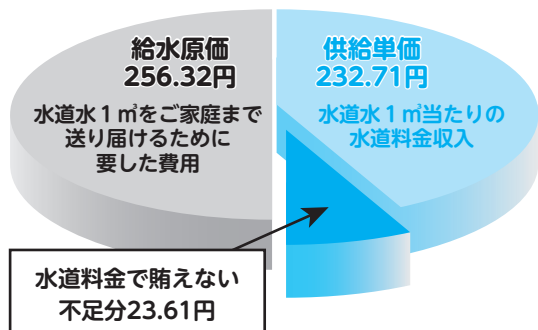
※ 保存期間を過ぎたものは飲み水以外に使ってください。

お風呂の残り湯は災害時に水洗トイレなどにも利用できます。



山武水道の水道料金について

1 m³ 当たり（平成 30 年度決算数値）



水道料金は、水道法により「適正な原価に照らし公正妥当なものであること」とされています。山武水道の給水原価は、遠く利根川に水源を求めている九十九里地域水道企業団から浄水を購入しているため、給水区域内に豊富な水源がある事業者と比べ割高となっています。

地方公営企業の経営は、経費の支払いに料金収入をもって充てる独立採算が基本原則ですが、山武水道は水道事業という高い公共性に鑑み、不足分 23.61 円を千葉県及び構成市町からの補助金で賄うことで、現在の水道料金を維持しています。

今後も職員一丸となり、健全経営に努めてまいりますのでご利用の皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。